

置き場所

日陰には強い植物ですが、あまりに暗いと葉っぱのツヤが悪くなったり、葉がダラーンとしてきますので、できれば直射日光または直射日光ではなくても明るい半日陰で管理してください。どうしても暗い場所にしか置けない場合は1週間に一度、日当たりの良い場所に移してあげてください。

■□■ 注意点 ■□■

■夏の期間（7月～9月）は直射日光に当てると、日差しが強すぎるので、葉っぱが焼けて、黒くなったり茶色く変色してきますので、この期間は日陰、もしくは、午前中のみ日が当たる場所で、管理してください。

■エアコンなどの空調の入った場所は空気がとても乾燥します。空気が乾燥すると、葉の端が丸まったり茶色くなったりしてきます。エアコンの温冷風が直接当たる場所には置かないで下さい。また、霧吹きで植物の周辺にシュッシュとしてあげると、空気中の湿度が保てますのでできれば1日に1度与えてあげると効果的です。

水やり

基本的な目安としては土の表面がカラカラに乾いたら与えてください。与える量は鉢の底の穴から少し水が出てくる量が適量です。与えるタイミングの目安ですが、土が乾くと、土がバラバラとしてきます。表面の土を指でつまみ、手につかなく、バラバラしてきたら与えてください。土が手にしっとりとする場合は土が湿っていますので、もう少ししてから与えてください。

■□■ 注意点 ■□■

■植物の枯れてしまう原因のほとんどが水のやりすぎによる根ぐされです。どうしても気になって2～3日に一度与えてしまう場合が多いので与えすぎには注意してください。

■直射日光が当たる場所などは当たらない場所よりも土が早く乾きますので、おのずと水やりの頻度も多くなります。また、夏季は冬季と比べ土が早く乾きますので、水やりの回数も増えます。水やりの回数は温度の上昇に比例して増えてくるとお考えください。

■夏季は植物自体も成長期で水分をたくさん消費しますので、乾くのが早くなりますのでこまめに土の乾きぐあいをチェックしてください。また、夏季の高温期の昼真に水を耐えると、土の中の水分がお湯のように高温になってしまい、根っこをいためてしまいますので、夏季の間は午前中もしくは夕方涼しい時間帯に与えてください。逆に冬季は夜間の寒い時間帯に与えると、水が冷たすぎて根っこをいためるので、暖かい午前中もしくは昼間に与えるようにしてください。

■土が乾いているかどうかよくわからないという方は土に割り箸や竹串など5cm程度挿して、30分ほどして抜き、湿っていれば土の中には水分がまだあるという状態なので与えず、

肥料について

肥料不足になると、葉っぱのツヤが悪い・成長しない・・・など様々なことが起こります。APEGOでは植替えの際、土に肥料分を混ぜてありますが成長期には肥料を与えるようにしてください。肥料の与える季節またどのような肥料を与えればよいかは下記の注意点を参考ください。

■□■ 注意点 ■□■

■植物の成長期は春から秋にかけてです。この期間は肥料を与えてください。冬季（12月～2月）は寒さで一時的成長を停止するので、肥料は与えないようにしてください。したがって与える期間は3月～11月となります。

■どのような肥料を与えればよいかですが、大きく分けて肥料には固形肥料と液体肥料があります。固形肥料は効果が出るまで、時間がかかるのに対して、液体肥料はすぐに効果が現れます。固形肥料は土の表面に置くだけで、水やりの際に溶けていき、土の中に浸透していきます。また、液体肥料は水やりの際に水に液体肥料の原液を希釈し与えます。どちらを与えていただいてもかまいません。理想としては固形肥料を置き、10日に一度程度、液体肥料を与えるのが最適な方法です。

■では実際にどのような肥料を与えればよいか、ホームセンターなどで手軽に手に入るもののほうがよいかと思いますので、APEGOがおすすめする観葉植物全般に適した肥料をご紹介します。

ハイポネックス社・・・『ハイグレード観葉植物』（液体肥料）『プロミック観葉植物用』（固形肥料）

住友化学園芸社・・・『エードボトリン4号観葉植物用』（液体肥料）『エードボールCa』（固形肥料）

※上記のものは一般的にホームセンターであれば販売しているものなので、お近くのホームセンターでお買い上げいただけます。お店で上記の肥料の商品名を店員の方に伝えられるとすぐにわかります。与える分量などについては各商品説明をよく読み、お買い上げの観葉植物の鉢の大きさにしたがって与えてください。もし、使用方法等でわからないことがありましたら、メーカーもしくは下記のAPEGOお問い合わせ先までご連絡ください。

その他注意点

■植物は新陳代謝のため、古い葉っぱから黄色くなっていき新しい新芽を出して成長していきます。最も古い葉が黄色くなった場合は早めに切り取ることで、新芽の成長を早めますので葉が黄色くなった場合は切ってください。

■鉢の周辺に小バエが飛ぶ場合があります。これは土の中に含まれる有機質（肥料等）によってくるものです。この小バエが植物にダメージを与える事はありません。対処法としては植物用の殺虫剤（パイベニカスプレーもしくはオルトランC）で退治していただくのが最も効果的です。この薬品はホームセンターでよく売られています。商品詳細はメーカーHPをご覧ください。

もし何かご不明な点があれば e-shop@apego.jp もしくは06-7503-1925 までお問い合わせください。

APEGO（アペーゴ）

〒536-0021 大阪市城東区諏訪3-7-27

TEL/FAX 06-7503-1925